

平成27年度 公益財団法人とやま国際センター事業報告

I 国際化促進事業

(計画額 170,826 千円 実績額 144,448 千円)

1 国際交流事業

(計画額 3,442 千円 実績額 1,515 千円)

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行った。(単位:千円)

団体名	事業名	助成金額
NPO 法人富山県日中友好協会	クプチ砂漠緑化植林協力事業	100
ラテンフェスティバル in 富山	ラテンフェスティバル in 富山6	100
チングサラントンアリ	韓国水原市日本語学習者との交流事業	41
計	3団体	241

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流・協力の意識の啓発、向上を図った。

時期: 11月6日(金)

会場: 富山県庁 4階 大会議室

表彰者

個人2 市井 和彦 ((一社)富山県芸術文化協会)

高輪 修 (南砺ラオス会)

団体4 富山ルーマニア友好協会

南砺市中学生オーストラリア派遣実行委員会

にほんご広場なんと

勉強お助け隊



(3) 国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取組む県内の団体の日頃の活動等を紹介するとともに、県民が異文化に触れ合う機会を提供した。

時 期：11月8日（日）

会 場：富山駅自由通路、CICビル内

参加者数：延べ約7,100名（27団体）

主 催：国際交流フェスティバル2015実行委員会



2 国際協力事業

(計画額 86,270千円 実績額 74,393千円)

(1) 海外研修員等の受入

ア 海外技術研修員

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	6カ月	安川専門学校ロイモード学院
ロシア	1名	6カ月	伏木海陸運送株式会社
中国	1名	3カ月	株式会社PCO

イ 自治体協力交流員

富山県が受け入れる中国からの公務員に対して、滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
中国	2名	6カ月	富山情報ビジネス専門学校
			富山県衛生研究所

ウ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	6カ月	高岡市立野村小学校



(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生に対して滞在中の日常生活等を支援した。

区分	人数	受入期間	留学先
ロシア沿海地方留学生	1名	平成27年4月6日～28年3月27日	富山大学
中国遼寧省留学生	1名	平成27年4月1日～28年3月6日	〃
南米留学生	1名	平成27年4月1日～28年3月24日	富山国際大学
県立大学遼寧省留学生	1名	平成27年4月8日～28年3月26日	富山県立大学

イ 私費留学生への支援

(ア) 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学等に在籍する私費留学生のうち、成績が優秀で国際交流事業等へ参加の意思がある学生に対し奨学金を支給した。また、専門学校等で日本語を学ぶ学生に対し奨学金を支給した。

大学等在籍者	1年生	月額10千円支給	支給者数	15名
	2年生以上	月額50千円支給	支給者数	23名
日本語教育機関の学生		月額3千円支給	支給者数	137名

(イ) 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付した。

- ・助成額：年額12千円（本人負担分の約2/3）
- ・支給者数：私費留学生 192名
日本語教育機関学生 123名

(ウ) 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となった。

引受件数 61件

新 ウ 留学生による富山の留学ライフPR事業

県内の外国人留学生が留学生活や富山県の魅力をウェブサイト・Facebook ページを活用して海外に向けて情報発信する活動を支援した。

参加学生 外国人留学生 26名
日本人学生（サポーター） 7名



新 エ アセアン留学生の受入

県と県内企業が連携して実施する留学から就職までを一体とした留学生受入モデル事業によるアセアン留学生5名の滞在1年目の日常生活等を支援した。

留学生出身国	受入企業	受入期間	留学先
インドネシア	朝日印刷株式会社	平成28年1月13日～	富山大学 理工学教育部
ベトナム	黒田化学株式会社	平成28年1月12日～	富山大学 理工学教育部
インドネシア	中越興業株式会社	平成27年11月30日～	富山県立大学 工学研究科
インドネシア	東亜薬品株式会社	平成27年12月7日～	富山大学 医学薬学教育部
タイ	日医工株式会社	平成28年1月13日～	富山大学 医学薬学教育部

(3) NOWPAPへの協力

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援した。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業の帰国報告会の開催を支援した。

- ・青年海外協力隊富山県OB会活動補助金 80千円



(5) 海外移住者及び関連団体への支援

- ・在外県人会活動費補助金 1, 270千円(ブラジル、アルゼンチン、ペルー)
- ・南米協会活動費補助金 1, 000千円
- ・海外移住家族会活動費補助金 4, 844千円

3 多文化共生事業

(計画額 7,088千円 実績額 6,091千円)

(1) 外国人のための生活相談等の実施

ア 生活相談

県内で暮らしている外国人が日常生活に必要な情報や個人的な悩み等を母国語で相談できるよう外国人の生活相談員や国際交流員を配置し、面談又は電話で対応した。

(対応言語) 英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語

(相談実績件数)

内容 国籍	情報	保険	在留	教育	医療	福祉	税金	労働	婚姻	法律	住宅	その他	合計
ブラジル	25	3	9	6	12	13	5	14	7	6	3	2	105
ロシア	3												3
フィリピン				2					1				3
中国											1		1
キルギスタン	1												1
インド											1		1
ペルー						1							1
合計	29	3	9	8	12	14	5	14	8	6	5	2	115

イ 電話通訳サポート

生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機（NTTトリオフォン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを行った。 利用件数：23件

(2) 外国人のための日本語学習支援ボランティアの育成・支援

ア 日本語ボランティア養成講座

外国人の日本語学習を支援するボランティア養成のための講座を開催した。

時期：6月2日～8月4日

回数：全10回

会場：環日本海交流会館

受講者数：12名



イ 日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門アドバイザーを派遣し、安定的運営とスキルの向上を図った。

派遣実績：太閤山日本語グループ 14回

日本語教室 in 氷見 9回

日本語教室 in 黒部 12回

にほんご広場なんと 15回

新（３）外国人住民のための日本語読み書き教室

県内在住外国人の日本語の「読み書き」向上を図るための教室を開催した。

時 期：9月13日～1月24日

開催回数：全10回

会 場：環日本海交流会館

参加者数：28名

（外国人受講者9名、日本人サポーター19名）

（４）外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供した。

時 期：4月～3月 毎月第2土曜日（5月、10月、1月のみ第3土曜日）

開催回数：12回（英語（9回）、中国語（1回）、ロシア語（1回）、ポルトガル語（1回））

会 場：環日本海交流会館

参加者数：延223名

（５）外国人への防災情報提供

ア ラジオ番組「BOUSAI RADIO」による防災情報の提供

地震や台風など災害に関する防災情報をやさしい日本語、中国語、英語、ポルトガル語で提供するラジオ番組「BOUSAI RADIO」を放送した。

毎月第1・3土曜日 午後9時55分から5分間、FMとやまで放送

イ 外国人への防災スポット放送事業

災害時における外国人支援ボランティアの募集や防災訓練の案内等について多言語（日本語、英語）で広報した。

40秒のスポット放送を1局当たり18回放送

時期 6月、8月、9月

北日本ラジオ、FMとやま

（６）災害時の外国人支援のための防災訓練事業

ア 災害時外国人支援（やさしい日本語）ボランティアの養成

災害時における「やさしい日本語」による情報提供等研修会を県内日本語教室4か所で実施した。

時 期：6月20日～7月26日

開催回数：4回

参加者数：68名（日本語教室運営日本人サポーター等 28名、外国人参加者 40名）

会 場：南太閤山コミュニティセンター、氷見市いきいき元気館、南砺市福光公民館、黒部市国際文化センターコラーレ



イ 災害時外国人支援（多言語）ボランティアの養成

災害時における「多言語」での通訳、翻訳による情報提供研修会を実施した。

時 期：7月5日（土）

会 場：環日本海交流会館

参加者数：21名

ウ 広域連携による実施訓練（石川県及び石川県国際交流協会と共同実施）

大規模災害時における石川県と連携した「災害時外国人支援ボランティア研修」を実施した。

時 期：8月1日（土）

会 場：富山県広域消防防災センター

参加者数：26名（富山県15名、石川県11名）

エ 富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練において「災害時多言語支援センター」等の運営訓練を実施した。

時 期：9月6日（日）

会 場：魚津テクノスポーツドーム（ありそドーム）

参加者数：23名

新（7）外国にルーツをもつ子どものための学習支援ボランティア研修会

外国にルーツをもつ子供たちの教育に関する現状を紹介するとともに、学習支援ボランティアの育成を図るための研修会を開催した。

時 期 10月3日（土）

場 所 環日本海交流会館

内 容 ①講演「富山に住む外国につながる子どもたちへの支援」

講師 アレッセ高岡 代表 青木 由香氏

②講義とワークショップ「日本語ボランティアの役割とポイント」

講師 NPO法人 多文化共生センター東京 千田 綾氏

参加者数 17名（内外国人住民 6名）



4 国際理解・研修事業

（計画額 4,066千円 実績額 2,195千円）

（1）語学講座の開催

講座名	コース	期 間	対 象	受講者数
中国語	入 門	5/25～3/14	初心者	13名
	初 級	5/29～3/11	経験者（1年程度）	11名
	中 級	5/27～3/9	基礎修得者	13名
韓国語	入 門	5/26～3/1	初心者	34名
	初 級	5/28～3/3	経験者（1年程度）	21名
	中 級	5/27～3/16	基礎修得者	16名
ロシア語	入 門	5/28～3/10	初心者	6名
	中 級	5/29～3/11	基礎修得者	17名
ポルトガル語	初 級	5/25～3/28	基礎修得者	11名

開催回数：各講座 35回

会 場：とやま国際センター研修室

(2) 国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し国際交流・国際理解・国際協力を促進した。

開催回数：71回

参加者数：延べ3,714名

講師：国際交流員、JICA職員、青年海外協力隊OB、留学生など

(3) 国際交流サロン イングリッシュ・チャット

県民と県内で暮らす外国人ゲストが自国の文化や日頃感じていることなどを英語で自由に語りあった。

開催回数：21回

参加者数：延べ670名

会場：とやま国際センター談話室

(4) とやま国際塾

各国からの国際交流員、海外技術研修員、留学生との交流などを通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流、国際協力や多文化共生に関心を高めてもらった。

時期：7月18日(土)～19日(日)

参加者数：高校生31名

会場：呉羽青少年自然の家、他



(5) 市町村職員等国際協力実務研修

各市町村事業担当課長及び実務担当者を対象に、富山県、JICA北陸支部及び当財団の平成27年度国際交流・協力、多文化共生関係事業等の概要について説明した。

時期：7月6日(月)

参加者数：24名

会場：環日本海交流会館

(6) 国際理解のための教材、国旗及び民族衣装の貸出し

(貸出実績)

教材：2件(2団体)

民族衣装：91件(延べ7団体)

国旗：114件(延べ30団体)

5 情報サービス事業

(計画額 2,244千円 実績額 1,752千円)

(1) 情報紙の発行

ア 「What's Happening」

内容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介した。

発行言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語

発行部数：隔月 2,100部

イ 「TIC NEWS」

内容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際流団体の活動、海外からのレポート、とやま国際センターの事業等を報告した。

発行部数：年4回 各2,000部

(2) 多言語メールマガジン情報提供

内 容：外国人住民などに幅広く国際交流事業、イベント情報、生活情報、防災情報等を提供する多言語メールマガジンを配信した。

対応言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語

配信回数：12回（4月～3月）

登録者数：115名（平成28年3月末）

(3) 国際交流人材バンク

ア 国際交流人材の登録と紹介

(紹介実績)

区 分	件数	内 訳 (人)	
通 訳 者	28件	英語(9) 中国語(9) 韓国語(5)ポルトガル語(7) タイ語(1) 等	計：58名
翻 訳 者	30件	英語(24) インドネシア語(2) 中国語(1) ベトナム語(1) 等	計：35名
ホストファミリー	2件	利用者の国籍 アメリカ(1) ロシア(1)	計：2名
海外事情紹介者	7件	南米(1) 韓国(1) 等	計：7名

イ 通訳者の資質向上のためのセミナー開催

観光通訳をテーマに、幅広い言語の通訳者を対象としたセミナーを開催した。

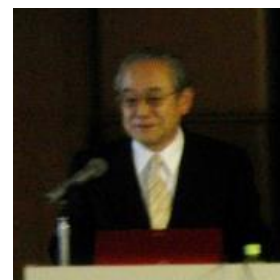
時 期：11月21日(土)

会 場：環日本海交流会館

受講者数：40名

内 容：“あなたもできる観光通訳ガイド”

講 師：根岸 正氏（通訳案内士、(一社)日本観光通訳協会理事）



6 環日本海交流会館管理運営事業 (計画額 10,985千円 実績額 10,044千円)

(1) 施設管理運営費

県民と外国人の交流の場、国際交流団体やボランティアの自主的な活動の場、留学生や研修生等の活動の場として運営を行った。国際交流・国際協力に関する図書などの情報媒体を活用し、富山県をはじめ諸外国の情報提供を行った。

・総利用者数 25,907名

一般利用者数

区 分	午 前	午 後	夜 間	合 計
人 数	5,983	4,928	4,696	15,607

会議室利用者数

1,302件 10,300名 (うち、大会議室利用 145件 3,512名)

図書、DVD等の利用件数

区 分	図 書	DVD	CD
件 数	1,619	267	15

7 富山県大連事務所運営事業

(計画額 31,124千円 実績額 26,023千円)

(1) 経済交流の推進

ア 訪問・来訪等による情報収集等 延308件

- ・来所…168件 (日系の企業等 106件、中国企業等 62件)
- ・訪問…140件 (日系の企業等 84件、中国企業等 56件)

イ 各種ミッション等に対する協力・支援

- ・日中経済協力会議(瀋陽)訪問団への支援、FBC上海2015ものづくり商談会(県共催事業)への協力、北京・伝統工芸品博覧会への出展支援、地方銀行合同商談会参加の支店長団への支援、平成27年度富山県中国東北地方貿易投資商談ミッション団への支援 ほか

ウ 各種商談会、セミナー等の調査・視察

- ・大連地銀合同商談会、中国国際ソフトウェア及び情報サービス交易会、第3回中国国際港貿易博覧会、日中地域間交流推進セミナー、大連保税区・日本商品展示場 ほか

エ 観光客の誘致

- ・中国の旅行会社等との面談・情報収集・PR等
- ・県内旅行会社の大連における旅行商品説明に対する支援
- ・瀋陽・大連からの富山県への旅行会社招聘事業に対する支援
- ・「MA-TSU-RI2015(大連)」、「大連日本商品展覧会」、「天皇誕生日祝賀レセプション(瀋陽、大連)」、「日本酒と日本の食文化講演会」等での観光PR活動 ほか

オ その他

- ・大連富山企業会の開催(7月7日、9月17日、12月3日、3月22日)セミナー、企業視察、意見交換会等の開催
- ・地酒の販売促進、新規輸出に係る支援
- ・富山-大連便の利用促進についての連絡調整、増便交渉等に係る支援
- ・県内企業の中国国際貿易促進委員会への紹介 ほか



(2) 各種交流事業への支援

ア 学術研究交流団等の来訪時の研修・説明等への協力

- ・県内高等教育機関在籍学生の企業実務研修事業への支援、遼寧省との揮発性有機化合物合同調査事業への支援、大連日本人学校小学生5年生の校外学習に対する支援、遼寧師範大学における日本語コーナーへの支援、富山大学・県立大学・金沢大学の合同海外研修への支援 ほか

イ 要人等の来訪時の対応

- ・現地進出企業代表取締役等の来連対応

ウ 友好交流事業への協力

- ・大連市旅游局の県庁訪問に対する支援
- ・大連市緊急対応団の富山県内での視察研修に対する支援

(3) 富山ファン倶楽部の活動

- ア 総会の開催 (11月25日 瀋陽)
- イ 大連富山企業会と富山ファン倶楽部会員との交流会の開催 (12月3日 大連)
- ウ 会員への富山県情報の提供
- エ 会員名簿の更新、新規会員の加入促進 (会員数376名 (3月末時点))

II 日本海学推進事業

(計画額 8,558千円 実績額 7,399千円)

1 日本海学講座

環日本海地域の経済状況 —朝鮮半島との関連から—	(公財)環日本海経済研究所 主任研究員 三村 光弘	7月11日(土)	参加者 76名
海舟が見た環日本海地域	大妻女子大学比較文化学部 教授 上垣外 憲一	9月12日(土)	96名
化学分析から読み解く 環日本海地域の環 境の変遷	富山大学大学院理工学研究部 准教授 堀川 恵司	11月14日(土)	54名
立山・黒部の山岳遺跡調査から	富山県埋蔵文化財センター 所長代理 島田 修一	1月16日(土)	129名

2 日本海学シンポジウム

- 時 期：2月20日(土)
会 場：北日本新聞ホール
参加者数：200名
テ ー マ：
「いのち輝く未来を考える—豊饒の海・富山湾から—」
講 師：山下 洋 氏 (京都大学フィールド科学教育
研究センター副センター長)



3 大学講座等推進事業

	内 容	受講者数
富山大学	総合科目特殊講義「日本海学」に初鹿宏壮氏(富山県環境科学センター主任研究員)を派遣	約100名
富山国際大学	「環境デザイン特別講義」に吉田尚郁氏((公財)環日本海環境協力センター主任研究員)ほか2名を派遣	約40名
富山県立大学	「環境論I」に和田直也氏(富山大学極東地域研究センター教授)を派遣	約230名
	「富山と日本海」に大田希生氏(水中カメラマン)ほか1名を派遣	約80名

4 日本海学研究グループ支援事業

- 助成実績 応募16件、助成10件、助成総額2,150千円
平成26年度助成分成果発表会 (8グループ・個人)
時 期：6月13日(土)
会 場：県民会館704号室
参 加 者：44名

5 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

シンポジウム「東アジアの経済交流の今後と富山の観光ビジネス戦略
～変動の時代における北東アジアの経済交流～」

期 日：11月19日(木)

場 所：富山国際会議場会議室

参加者：一般県民、研究機関研究者44名



新 6 富山湾の魅力体験親子教室

開催日：8月1日(土)、8月8日(土)

場 所：富山高等専門学校臨海実習場、富山湾

参加者：1日 38名(子ども21名、保護者17名)

8日 33名(子ども19名、保護者14名)

Ⅲ 旅券関係事業

(計画額 42,248千円 実績額 41,934千円)

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務、旅券発給等に係る定期報告、統計資料の作成業務など旅券に関する業務を富山県旅券センター及び高岡支所で行った。

(旅券発行状況)

区 分	平成27年度(件)	平成26年度(件)	対比(%)
新規発給	21,493	21,921	98.0%
渡航先追加	1	0	—
査証欄増補	96	113	85.0%
訂正	0	0	—